

スタディーフィールド 合格者数の扱いについて

以前のHPにある「実績」に関する問い合わせが寄せられましたので、スタディーフィールドの合格者の扱い（ルール）を説明させていただきます。

合格者の数は塾内で直接授業を通年受講している生徒のみ

塾として重要ですので詳細に書かせていただきます

- ①夏期講習や冬期講習といった講習会で学習しただけの生徒は合格者に入れません！
- ②模試（特別な模試・塾で独自に開催している模試）を受けただけの生徒は合格者に入れません！
- ③Web講座・通信講座・テスト対策等のイベント生・通年通いのない生徒は合格者に入れません！

我々、愛子教室の講師は、「塾生第一」でやっております。「塾生第一」とはその生徒の希望や夢をかなえるサポートを最大限やるということです。生徒の希望はそれぞれに違いますので（広瀬高に行きたい・一高に行きたい・私立で部活の強いところに行きたい等）つまり、我々の考える合格者数とは生徒の希望をサポートできた数という意味になります（塾生全員の希望を叶えることが一番の喜びです）。また特定の高校の合格者だけを伸ばそうとして、時間や力をその特定の高校を受験する生徒にだけ注ぎたいというわけでもありません（二高等）そして、入塾前の成績は1つの学習方法を考える分析資料の1つとしてだけ考えます。大切なことは、入塾後の生徒1人1人の希望を叶えるためにはどうすれば良いかをとことん追求したいと考えている教室です。

下記のようなことも当然ですがしていません。

- ①講習会等を受講しただけで生徒のご家庭に合格発表後、電話をして合格者数に入れること！
- ②通年通いのない生徒で、特定の高校を受験した生徒の受験番号を聞き出し（塾内の生徒から通年通いのない生徒の受験番号を事前に聞く等）、合格発表の掲示板を見て塾の合格者数に入れること！
- ③実績として打ち出したい特定の高校の合格者数の水増し（要するに嘘をつく）をすること！

上記は、生徒やご家庭など必死に勉強した受験生に対して非礼でしかありません

我々、愛子教室はそれぞれの生徒の希望をかなえたいと考える塾です。つまり、特定の高校の合格数に我々がこだわる理由がありません。我々、愛子教室の3人の講師は「塾の宣伝になる生徒を集めたい。そしてその合格数でより多くの生徒を集めたい」という考えで仕事をしているわけではございません。「勉強で苦しんでいる生徒を我々の経験や仕事で少しでもサポートできたら良い」と考えています。その為、講師は日々学習をし、入試制度の変更などの情報を研究・分析しております。